

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	事務事業評価の実施	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	事務事業の改善や施策の方向性に資すると共に、透明性や効率性を確保するために必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となって行うものである。
	手段の妥当性	A 妥当である	行政評価を行うことについては妥当であるが、施策評価の手法は検討中である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	財務会計システムを使用して行うこととしたが、会計システム等との連携について課題がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	シートを書くことが目的ではなく、課題の発見と改善が目的である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	第5次結城市総合計画後期基本計画を施策評価対応の計画とする方向で進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
総合計画に掲載された施策と予算上の位置づけが一致していない部分があり、施策体系と評価検証の手法について検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
次期総合計画の策定に合わせた施策体系の見直しを行い、業務の効率性と透明性を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 総合計画で掲げる将来都市像の実現のため、各種事業を効果的に進めるためには、計画・実行・評価・改善のいわゆるPDCAサイクルを着実に回していくことが重要である。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。